

3. モデル地点・施設の設定

モデル地点・施設の設定は、都市化が進む首都圏及び近郊地域の生物の多様性の向上を目的とした、生態系ネットワーク形成の構成要素であるコア、サテライト、コリドーと成り得る公共施設の緑地から選定する。

都市化が進む首都圏及び近郊地域での生態系ネットワークを形成し、生物の多様性を高めるためには、自然公園等のコアとなる緑地からコリドーと成る線状緑地を介して生物の移動経路を確保し、首都圏及び近郊地域に種の供給を図る事、コリドーにより供給された動植物をサテライトにより面的に広げ生態系ネットワーク網を形成する事が重要となる（図3-1 モデル地点（施設）の構成）。



図3-1 モデル地点・施設の構成模式

上記の視点から、モデル地区・施設として想定される緑地を、表3-1 モデル地区として想定される緑地一覧 に整理した。

その中から、コリドーとしての高い機能やポテンシャルを有する緑地として「道路用地内緑地（高速道路等幹線道路附属緑地）」をモデル地区・施設として設定した。

また、サテライトとしての高いポテンシャルを有する緑地として、首都圏及び近郊地域内にはほぼ均等に配置されているため、調査対象地や調査者に片寄りがないこと、日常的に利用している身近な場所であることから「小・中学校の緑地（学校ビオトープを含む）」をモデル地区・施設として設定した。

表3-1 モデル地区として想定される緑地一覧

モデル地区(施設)		
コアを形成する緑地	自然公園等地域性緑地	国立公園・国定公園等
		県立自然公園等
サテライトを形成する緑地	公園緑地等の都市施設とする緑地	都市計画公園・緑地、緑地保全地域等
		その他都市公園
	制度上安定した緑地	生産緑地
	社会通念上安定した緑地	社寺境内緑地等
	公共施設の附属緑地	小・中学校附属緑地・学校ビオトープ
		役所・図書館等附属緑地
	その他の緑地	共同住宅の附属緑地
屋敷林		
コリドーを形成する緑地	社会通念上安定した緑地 その他の緑地	道路用地内の緑地(高速道路等幹線道路)
		鉄道用地内の緑地
	制度上安定した緑地	河川緑地

また、調査対象地内における、サテライトを形成する緑地として設定した小・中学校の配置状況を調査し、表3-2 調査対象地内における小・中学校一覧、ならびに図3-2 調査対象地内における小・中学校の分布状況に整理した。

表3-2 調査対象地内における小・中学校一覧

	区分	学校名	備考	
ゾーン-1	関越自動車道北側	柳瀬川以北	大井中学校	
ゾーン-2		柳瀬川～黒目川間	新開小学校	
			大和田小学校	
			野火止小学校	
			陣屋小学校	
			第四小学校	
			新座中学校	
ゾーン-3		黒目川以南	朝霞第四小学校	
			池田小学校	
			第三中学校	
ゾーン-4	関越自動車道南側	柳瀬川以北	柳瀬小学校	
東所沢小学校				
柳瀬中学校				
安松中学校				
ゾーン-5		柳瀬川～黒目川間	新堀小学校	
			西堀小学校	
			石神小学校	
			第六中学校	
ゾーン-6		黒目川以南	片山小学校	
			八石小学校	
			栗原小学校	
			野寺小学校	
			第五中学校	

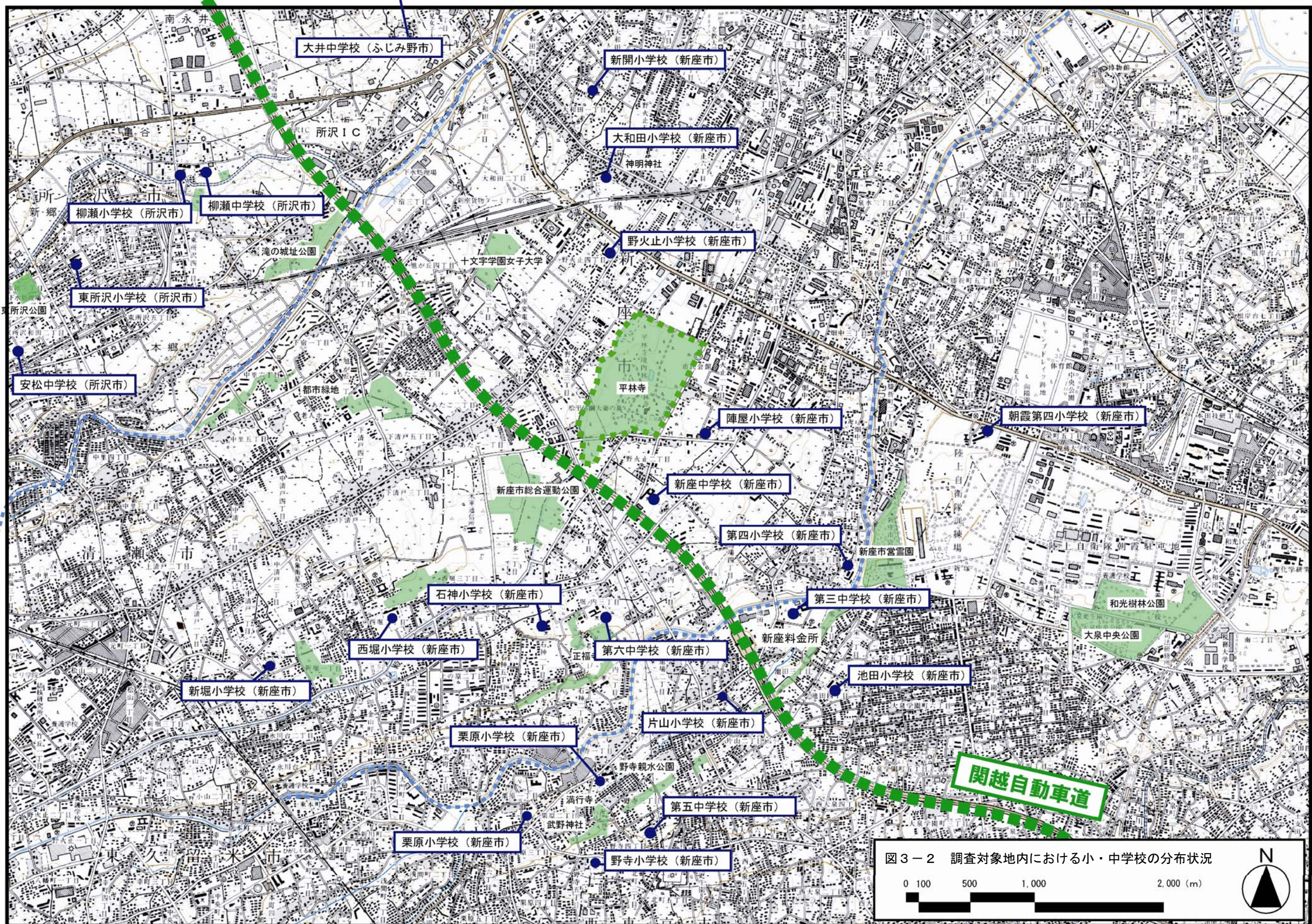


図3-2 調査対象地内における小・中学校の分布状況

0 100 500 1,000 2,000 (m)